

第11回 FEIAP EXCO Meeting(執行委員会)及び

WEC2019 (World Engineers Convention) 参加報告

1. FEIAP EXCO Meeting(執行委員会)

1.1 FEIAP(アジア・太平洋技術者協会連盟)の概要

FEIAPは、当該地域のエコミー(国あるいは地域といった単一経済体)に所属する技術士会相当機関(日本代表は日本技術士会)の集合体である。ASEAN 諸国を中心に周辺エコミーである日本、韓国、台湾、中国、オーストラリア、アフリカ諸国、太平洋諸国の一部も含み、毎年2回(GA:総会とEXCO Meeting:執行委員会)が開催される。

FEIAPとは別に、CAFEO(ASEAN 技術者協会連盟国際会議)というASEAN 諸国における技術者全体の会議があるが、ASEAN 諸国以外のエコミーにも開放されているため、参加エコミーはFEIAP とほぼ同一である。そのため、通常 EXCO Meeting は、CAFEO 開催期間中に Session の一部として実施される。

なお、今回はCAFEOとの連携ではなく、WFEO(世界工学団体連盟)主催のWEC(世界エンジニアリング会議、4年に1度開催)と連携し、その開催期間中に実施された。

1.2 FEIAP EXCO Meeting への出席目的

2011年10月開催のFEIAP総会において、Standing Committee on Engineering Educationの正委員とStanding Committee on Disaster and Preparednessへの参加を受諾しており、以後、日本技術士会は、執行委員会メンバーとして選出された年度以外の年も、常設委員会への出席のために毎年参加している。

また、FEIAPにおいては、専門職資格認証の議論以上に工学教育認定に関する議論に重きが置かれている。本会議は、諸外国における技術者育成の一連の取組、連携や戦略を確認する絶好の機会であるとともに、技術士の海外活動にとり重要な地域を代表する識者と人的・技術情動的交流を図ることも目的としている。

1.3 第11回 FEIAP EXCO Meeting の概要

執行委員会では、前回議事録の確認(⑩執行委員会(2018/11、シンガポール)、⑦総会(2019/6、西安))、会員動向(現会員:25エコミー(正会員)、2エコミー(Associate 会員)、9エコミー(新会員として招聘中))等が確認された。続いて、常設委員会(①Environment Engineering、②Engineering Education、③Information and communication technologies、④Disaster Prevention)が並行開催され、今後の予定が定められた。(詳細は会員用報告に記載)

日時：2019年11月21日(木)13:00~15:00

場所：Engineers Australia office

参加者:山口高士、鈴木久尚



執行委員会開会挨拶(FEIAP President Dr. Huang Wei (中国))

2. WEC2019 の概要

WFEOは1968年に設立された、現在100か国3,000万人の技術者を擁するエンジニアリングの機関であり、都市の成長、気候変動、人口増加への対応等、世界が直面する課題に対して科学技術とイノベーションに関するアドバイスを提供する国連の政治フォーラムで、国際レベルでの科学技術の10の主要な組織の1つである。

そのWFEOが主催するWEC2019は、SDGsを主題に、対応した17のセッションに分かれて発表が行われた。(プログラム及び聴講概要については、会員用報告に記載)

日時：2019年11月20日(水)9:45~11月22日(金)16:30

場所：convention center

参加者:山口高士、鈴木久尚